

みんなで作る

みやち

笑顔のまち福山

宮地つよし

後援会だより

No. 29



★編集発行

宮地つよし後援会

★発行責任者

長安 幸司

★発行年月

平成 30 年2月

★「30年後の福山の未来図」100人委員会成果発表

春一番が吹きぬけ日も長くなり始めるなど、春の近づきを肌で感じられることも多くなってきましたが、皆さまはいかがお過ごしでしょうか。

さて、2月12日（月・祝）に福山文化センターにおいて、100人委員会のメンバー（17歳から93歳で構成された100人）による「30年後の福山の未来図」と題した提案発表会が開催されました。この福山の未来図は、100人委員会のメンバーが12の部会に分かれ、それぞれの部会テーマで1年間論議を重ねた集大成として描かれたものです。

未来図はカラフルなイラストで描かれ、その中には新未来の技術革新と市内の伝統や文化が融合した街と、子どもから高齢者そして障がい者など多様な人々が充実した生活を送り、笑顔あふれる福山市の様子が描かれています。未来図の中には、ハイテクを駆使した城下町の再現や入り江の復活、ロボットが農作業や子育てをサポートする先端技術、安全で自由に移動できるドローンタクシーや福山環状線による渋滞解消、誰もが気軽に文化を学び・体験できる簾塾（れんじゅく*）の復活など、100人委員会メンバーの夢やアイデアが集約されています。

実際に福山市として検討を開始しようとしていた施策に通じる内容も含まれていましたし、なにより、この夢やアイデアを生き活きと提案・発表する委員会のメンバーの想いに大きな共感を覚えました。皆さんが作り上げたこの未来図をしっかりと受け止め、笑顔あふれる福山市となるようこれからも活動に邁進してまいります。*簾塾：江戸時代の福山藩に菅茶山が開いた私塾（菅茶山は簾塾を通じ階級に関係なく皆が平等に教育を受けることで、貧富によって差別されない社会を創ろうとしました）



【30年後の福山の未来図に描かれた主な提案】

- ・ゆっくりのんびり人がつながるサイクリングルート
- ・地域と若者が出会う場「夢 Café&Bar」
- ・みんなが楽しめる福山発全世代スポーツ
- ・福山駅前に緑あふれる人々が集う森のような公園
- ・縁起の良い場所を巡る「ラッキーのまち」スタンプラリー
- ・世代、国籍を超えた「地域食堂」
- ・子どもなどを「一人にしない」子供を支える体制づくり
- ・福山市立大学へ「ばら学部」増設

★子どもの生活に関する生活実態調査を初めて実施

全国的に子どもの貧困が問題視されていますが、福山市においても、今後の子どもの貧困対策における効果的な支援のあり方を検討するため、子どもの生活実態や学習環境などについて調査を行うこととしました（対象：小学校5年生・中学校2年生とその保護者 約6,000名で有効回答数80%以上）。調査は、世帯の所得額だけではなく家庭環境全体で把握すべきであるとの考えから、①年間所得額②家計の逼迫具合③子どもの体験や所有物の欠如の3要素で調査し、2つ以上の要素に該当すれば「生活困窮層」、いずれか1つの要素に該当すれば「周辺層」と分類しました。また「生活困窮層」「周辺層」のいずれかに該当した場合は「生活困難層」と位置づけています。

調査の結果は右表に示した通りですが、「生活困窮層」は、小5の家庭で10.5%・中2の家庭で11.2%という結果であり、「世帯構成別」では、小・中学校どちらも、ひとり親の家庭の場合30%以上が該当するなど、子どもの学習や健康面に何らかの影響がある傾向が見えた結果となりました。今回は、中間報告ですが3月末までに最終報告へまとめ、その結果をもとに各種施策の方向性が考えられていきます。

※子どもの生活に関する実態調査は、昨年7月に広島県が主体として実施したもので、一般的に言われる子どもの貧困や他の自治体で実施している貧困調査とは調査内容など違いがあり単純に比較することはできません。

「子どもの貧困は、子どもに責任があるのでしょうか？」

「子どもは国の宝」現在放送している大河ドラマで島津斉彬が言った言葉です。人口減少が進む中で、社会保障や経済成長が日本の大きな課題となっています。その支えである今の子どもたちが安心していきいきと育つ環境が無ければ、年金や介護、医療など暮らしを支える現在の制度が破綻してしまう可能性があります。

私は、全ての子ども達が生まれ育った環境に左右されることなく、自分の将来に希望を持ち、自分の人生を自らが切り開くことが出来る社会の実現を目指してまいります。また、貧困の連鎖・社会的孤立・健康上の問題など育成環境全般にわたる問題を複合的な課題と捉え、その解決や予防に継続的に活動できる社会になるよう力を入れていきたいと考えています。

生活困窮の状況

区分	小学校5年生の家庭	中学校2年生の家庭
生活困窮層	10.5%	11.2%
周辺層	17.6%	21.5%
生活困難層	28.1%	32.7%
非生活困難層	71.9%	67.3%

(世帯構成別の内訳)

区分		ふたり親の家庭	ひとり親の家庭
生活困窮層	小学校5年生	6.7%	32.2%
	中学校2年生	7.1%	31.8%
周辺層	小学校5年生	15.2%	32.2%
	中学校2年生	18.3%	38.5%
非生活困難層	小学校5年生	78.1%	35.7%
	中学校2年生	74.6%	29.7%

～3月の行動予定～

- 3/1 (木) 「福山の未来図」 除幕式
- 3/2 (金) 議会だより編集委員会
- 3/3 (土) 連合福山総決起集会
- 3/5 (月) ～8 (木) 本会議
- 3/9 (金) 総務委員会
- 3/10 (土) 中学校卒業式
- 3/12 (月) ～16 (金) 予算特別委員会
- 3/20 (火) 小学校卒業式
- 3/22 (木) 本会議
- 3/25 (日) 錬心館 空手道選手権大会
- 3/31 (土) スマートIC 開通式典

～ちょっと一息～



北京教育交流訪問団に参加した生徒一同

2月17日(土)に第10回 北京教育交流訪問団の報告会がありました。中学・高校の生徒19名、その他教員など合わせて29名が、北京市内の中学校で授業を受けたり、組み紐の体験実習をしたり、グループでの意見交換をするなどの異文化交流を行いました。意見交換では4つのグループがそれぞれ、「平和」「異文化理解」などをテーマに行い、「平和」ではお互いわかりあうことだと発表していましたが、私も中国赴任中に同じように感じましたので、特に印象に残りました。このような交流は観光では得られない貴重な経験だと思います。中学・高校生という若いうちにグローバルの状況を知り将来世界で活躍できる人になって欲しいと感じました。

～みなさんの声を聞かせて下さい～

【連絡先】

自宅：TEL/FAX：084-956-5690

Eメール：miyachi-tuyoshi@tk9.so-net.ne.jp

ご意見・ご要望をお気軽にお寄せ下さい。